

TOPICS 5 馬場記念病院 ペガサス健診センター

日曜日に乳がん検診が受けられます。

ペガサス健診センターでは、<ペガサスマンモグラフィーサンデー>と称して、月1回、第3日曜日にも乳がん検診を実施しています。撮影は女性技師が担当し、検診の所要時間は20～30分程度です。お仕事などで平日に受けられない方は、この機会にマンモグラフィー検査を受けてください。 ※平日は19時まで検診可能です。

◎3月の開催は、3月26日(日)9～17時です◎

検査内容	視触診・マンモグラフィー
検査費用	○堺市内在住の満40歳以上の偶数年齢の方 市民検診：視触診・マンモグラフィー併用…… 900円 ：マンモグラフィーのみ…… 500円 (他医療機関で視触診のみ実施された方は、マンモグラフィーのみの実施が可能です) ○その他の方…… 5,400円 ※堺市無料クーポン券が利用できます(事前予約が必要)。
お申し込み お問い合わせ	TEL : 072-265-6006 (ペガサス健診センター直通) 受付：月～金 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00

TOPICS 6 ペガサスグループ ペガサスロイヤルコンテスト

患者さまやご入居者の作品展を開催。

12月14日、第2回ペガサスロイヤルコンテストが開催されました。当日は、絵画や俳句など、さまざまな力作が並び、妹尾陽子さまの見事な刺繍が金賞を受賞しました。



TOPICS 7 社会福祉法人 風の馬 こども110番の家

地域社会への貢献を広げていきます。

特別養護老人ホームアリオンでは、地域の子どもの地域で守る<こども110番運動>に協力。子どもが助けを求めて駆け込める<こども110番の家>となっています。



ペガサス地域包括 ケアセンター



「なんでも相談」窓口あります
場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。
お問い合わせ／TEL:072-265-5558 (担当 平岩)

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などのご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がい者の方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスグループ 株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは148種類。大幅な値下げも実施中です。
お問い合わせ／TEL:0120-062-505

堺市
紙おむつ
給付券
OK!



3月 ペガサスセミナー

高齢者のこんな時は、 どうしたらいいの? ～家で安静?救急車?～

講師：ペガサス訪問看護ステーション
訪問看護師 久保ナミエ・
森本加奈美・金谷真理子
日時：3月28日(火)午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階ロビー

3月 ペルセウス介護 支援セミナー

たかが風邪!! されど風邪!! 春先の風邪にご用心を!!

講師：訪問看護師 梶原直美
日時：3月23日(木)午後2時30分～
場所：介護療養型老人保健施設
ペルセウス 3階食堂

3月 ペガサスセミナー 和泉

自宅でのリハビリの重要性について 自宅で出来る介護予防の体操

講師：ペガサス通所リハビリテーションセンター和泉
介護福祉士 森和人
理学療法士 田中宏明
日時：3月23日(木)午後2時～3時
場所：介護療養型老人保健施設エクス

4月 ロイヤルリゾート 健康相談会

4月開催プログラム

内容：ヘルパーの使い方あれこれ
ペガサス予防体操
マジックショー
日時：4月12日(水)午後1時30分～
場所：ペガサスロイヤルリゾート

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/平成29年3月14日

Vol. 74

ペガサスから地域の皆さまへ

入院前から退院後までを支える<入退院管理センター>。

平成28年11月1日、PFMを推進する入退院管理センターがスタートしました。

ペガサスでは、新たに<PFM推進室>をつくり、その第一歩として、馬場記念病院に<入退院管理センター>を設置しました。PFM(ペイシェント・フロー・マネージメント)とは、入院時から患者さまの病状や生活状況などを把握し、入院治療から退院時、そして在宅療養生活までを一貫して支援。患者さまに、切れ目のない医療や介護・福祉サービスを提供する仕組みのことです。

PFMの嚆矢となる<入退院管理センター>ではまず、看護師である吉田礼子センター長と医療ソーシャルワーカーである丸山秀幸副センター長(兼)の2名体制で、すべての入院患者さまの窓口となる取り組みを始めています。外来で入院が決まった患者さまとご家族に対し、なるべく早い段階で、15～30分程度の面談を実施。そこで、あらゆる困りごとや心配ごとをお伺いし、その場で解決したり、得た

情報を病棟と共有。入院中から在宅での生活を見据えた準備を進めるとともに、必要があれば、医療費や社会保障などの福祉制度の相談に乗る<医療福祉相談室>や、退院後の生活を支援する<ペガサス地域包括ケアセンター>などに繋いでいます。



ペガサスでは今後、<入退院管理センター>のいっそうの強化を図るとともに、グループ全体でPFMを強力に推進。常に、患者さまのその先の動きを見つめ、高度急性期から在宅、お住いまで適切、且つ、継続的なケアを提供し、地域の皆さまの安心の日々を支えてきます。

お問い合わせ／TEL:072-265-5558 (代表)

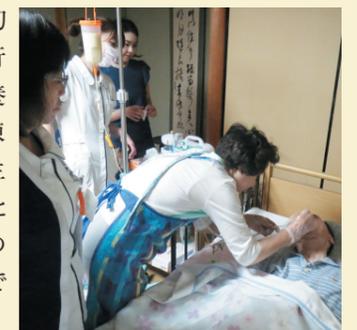
病棟看護師が、ご自宅へ訪問します。

馬場記念病院では、平成28年春から、退院後訪問指導を行っています。これは、退院後も医学管理を必要とする患者さまが、安心・安全に在宅療養できるよう、退院直後の一定期間、当院の病棟看護師がご自宅などを訪問。患者さまやご家族に療養指導を行ったり、訪問看護師に適切に引き継ぐことで、在宅療養へのスムーズな移行と再入院予防を図るものです。もともと当院では、重症な患者さまが安心・安全にご自宅などへお帰りいただけるよう、看護師が退院時に付き添うことがありました。それを昨年春、退院後訪問指導という形で整備しました。患者さまやご家族への指導内容は、胃ろうや人工肛門の処



置、医療機器の取り扱いなど。ケアが難しいケースは、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師が同行し指導することもあります。患者さまやご家族からは、「来てくれて助かった」「疑問点が解消できた」など、大変好評です。

今後も当院では、適切な退院後訪問指導を行い、患者さまの在宅療養を支えるとともに、病棟看護師には在宅、療養生活の実際を学ぶ機会とし、入院中から在宅での生活を見据えたケアができるようにしていきます。

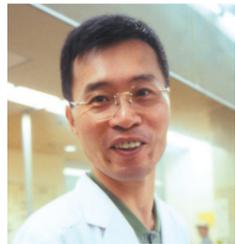


お問い合わせ／TEL:072-265-5568 (地域包括ケアセンター)

病気を知ろう | 粉瘤(アテローム)

シリーズ no.5

放置すると大きくなり、
痛みを伴うこともあります。

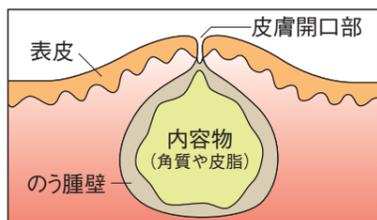


監修
副院長・形成外科部長
山本 喜英

粉瘤(アテローム)とは?:

粉瘤は、最も一般的な皮膚の良性腫瘍で、ほとんどが毛穴などの皮膚が変化して発生する「表皮のう腫」です。ここでは、粉瘤の大多数である、表皮のう腫をご説明します。

表皮のう腫は、皮膚の下に発生する、表皮と連続したのう腫(袋状のきもの)です。のう腫の壁は、皮膚の表面と同じ構造のため、ここから角質や皮脂がはがれて内腔に溜まり、少しずつ大きくなります。多くは半円球状で最初は小さいですが、大きくなると10cmを超えます。強く圧迫すると、悪臭を持つ粥状の内容物(垢)が出てることがあります。



粉瘤(表皮のう腫)のイメージ

粉瘤の症状:

粉瘤は、身体のどこにでも発生します。初期では皮膚の下にしこりを感じる程度で、痛みやかゆみ等の症状はありません。また、感染性の病気ではないので、他人にうつるということはありません。

但し、粉瘤は一度できると自然に消えることはなく、皮脂分泌や新陳代謝によってはがれ落ちる角質などが溜まっていくため、少しずつ大きくなっていきます。

そして粉瘤は、細菌に感染すると、皮膚の下で炎症を引き起こすこともあります。これを「炎症(化膿)性粉瘤」といいます。患部が赤くなり、痛みを伴うようになります。さらに化膿が悪化すると、膿が溜まって患部が腫れ上がり、激しい痛みが起こり、大きな「オデキ」と同じ状態になります。

粉瘤の治療方法:

治療は炎症の有無で異なります。炎症がない場合、表面の皮膚ごと粉瘤を切り取る外科的切除手術を行います。「(小)切開摘出法」と「くりぬき法(へそぬき法)」があり、それぞれ一長一短があります。大きさや部位などで使い分ける必要があります。

炎症がある場合は、すみやかに患部を局所麻酔下で切開し、膿を外に出します。これにより、一旦、粉瘤は小さく痛みも消滅しますが、あくまで対処療法のため、時間が経つと粉瘤は再発することが多いです。

粉瘤は、内側の壁を完全に摘出しない限りは治りません。当科では、患者さまのQOL(生活の質)を考え、再発を防ぎ、傷跡を最小限にする治療を行っていますので、もし「粉瘤かも?」と思ったら、なるべく(化膿する前に!)ご相談ください。粉瘤は「痛くもかゆくもない」ときにこそ、完全に摘出可能です。



顔にできた粉瘤 切除した粉瘤

エキスパート | 栄養サポートチーム専門療法士

シリーズ no.5

栄養サポートチームの
栄養管理の専門家。

口から食事をとれない方の
栄養補給をサポートします。

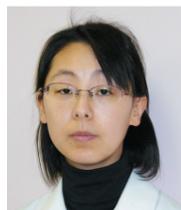
日本静脈経腸栄養学会が認定し、静脈栄養・経腸栄養を用いた臨床栄養学に関する優れた知識と技能を持つのが、栄養サポートチーム(NST)専門療法士です。多職種からなるNSTの一員として、静脈栄養や輸液の管理、栄養・食事のチェックなどを担当。チームで、患者さまの適切な栄

養管理と全身状態の改善、合併症の予防をめざします。取得には、管理栄養士や看護師、セラピストなどの有資格者が、実務経験や実地修練などの要件を満たし、試験に合格するのが条件。ペガサスには5名が在籍します。

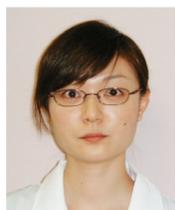
「栄養に携わる者として取得したいと考え、資格をとりました。栄養状態の改善はもちろん、『また口から食べられてうれしい』など、患者さまの心も満たせるような栄養療法を提案していきたいと考えています」。(趙)

「NSTの一員として、より良い活動

に貢献できるよう資格取得を志しました。NSTチームは、多職種、それぞれの専門分野から検討し、栄養管理を行います。そのなかで、NST専門療法士としてチームの中心となり、まとめていく存在になりたいです」。(松原)



趙 玉蓮 管理栄養士



松原 純子 管理栄養士

TOPICS 1 ペガサスグループ
契約介護職員の研修

すべての介護職員の
ケアの質を高めます。

ペガサスグループでは現在、契約社員として働く介護職員を対象に、そのスキルアップを図る研修を行っています。これは、厚生労働省のキャリアアップ助成金を活用し、人材育成・研修の専門会社を利用して行うもの。当グループの契約介護職員が計21時間、講義やケーススタディに基づくグループワーク、ロールプレイなどを通して、介護職員の役割や自己管理、そして、介護を受ける方とご家族とのコミュニケーションなどについて学びます。

ペガサスでは、こうした取り組みを通じて、グループで働くすべての介護職員のスキル向上に努め、グループ全体で質の高いケアを提供できるようめざしていきます。



TOPICS 3 ペガサスグループ
南大阪リハビリテーション・ケア学会

名称に新たに「ケア」を付け加え、
5回目となる学会を開催します。

平成29年3月18日、第5回「南大阪リハビリテーション・ケア学会」を馬場記念病院にて開催します。当学会は今回より名前を変えました。リハビリテーションは、機能訓練だけではなく、心理的・社会的な側面を持つ多職種によるチーム医療だからです。多職種の関わりを強く認識するため、新たに「ケア」を加えました。当学会ではこれを機に、南大阪地域で、リハビリテーションに関わる



昨年の学会の様子

すべての職種のさらなるレベルアップを図り、地域の皆さまの生活向上に寄与できるよう努めていきます。詳細はホームページ(http://www.pegasus.or.jp/s_osaka_rehab/)をご覧ください。

お問い合わせ/TEL:072-263-0630(ペガサス法人本部)

◎参加者募集中です◎

TOPICS 2 ペガサスグループ
ペガサスカケア発表会

ケア向上に向けた取り組みを
看護助手や介護職員が発表。

ペガサスでは、第2回「ペガサスカケア発表会」を行っています。看護助手・介護職員の質の向上と、各部署の連携強化を目的とするこの



予選会の様子

会は、グループ内の看護助手や介護職員なら誰でも参加可能。参加者は、「看護・介護の質の向上に関する」演題を口述で発表し、看護部や通所リハなどの所属長が審査員となり、内容や発表方法などの10項目を5点満点で評価します。今回からは実際の参加者も運営に加わり、さらにパワーアップ。前回より6題多い23題がエントリーしました。

昨年12月19~21日に実施した予選では、「トイレへGO!」などの上位7題が予選を通過、1月23日の本選に臨みました(結果は次号でお伝えします)。本選後には、参加者、審査員も含めた意見交換会を行う予定。発表した取り組みをさらに検討し、より良いケアへと繋げていきます。

TOPICS 4 馬場記念病院
皮膚科

<安心>の美容皮膚科外来を
始めました。

馬場記念病院の皮膚科では、美容皮膚科外来を始めました。当院の皮膚科専門医が、初診時に診察を行い、患者さま個人に合った適切な美容診療を提供します。診療では専用の待合室を設け、会計もそこで外来クラークが対応するなど、プライバシーにも配慮。治療にあたっては、患者さまがご納得できるまできちんと説明し、ゆっくりと治療を進めていきます。また、ホルモン治療による色素沈着、多毛といった、疾患治療薬の副作用への診療も実施。医学的根拠に基づく、安全で、効果の高い治療を行っています。

【女性限定・完全予約制】

	月	火	水	木	金
診療日	○	○	—	○	—
診療時間	午後13時30分~15時30分				
診療対象	光老化現象、肌質改善、にきび、光脱毛など				
診療費用 (自費診療)	初診料2,820円、再診料730円(税込み)				

※予約TEL:072-265-9062(平日9時~17時)